

「医療経済実態調査（医療機関等調査）」における決算データの活用  
に関する懇談会（ワーキンググループ）の設置について

1. 目的

医療経済実態調査（医療機関等調査）は、病院、一般診療所及び歯科診療所並びに保険薬局における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的として、2年に1回、中医協が実施している。

今般、第17回調査を実施するにあたり、中医協・調査実施小委員会において、医療機関等の決算データを活用した改善が求められており、決算データの使用及びその問題点等について、ワーキンググループを設置し検討することとされたところである。

このことから、医療経済実態調査（医療機関等調査）における決算データの活用に関する検討を目的として、中医協・調査実施小委員長のもとに専門家からなる懇談会（ワーキンググループ）を設置するものである。

2. 参加者

五十嵐 邦彦（公認会計士）  
遠藤 久夫（学習院大学経済学部教授）  
角田 政（税理士）  
小林 麻理（早稲田大学大学院公共経営研究科教授）  
西田 在賢（静岡県立大学経営情報学部教授）  
（五十音順）

3. 検討内容等

本懇談会（ワーキンググループ）の検討内容は以下のとおりとし、検討結果を中医協・調査実施小委員会へ報告する。

- （1）経営主体ごとの会計基準（財務諸表）の違いを考慮した調査票の作成に関する検討（調査項目の整理・調査項目の継続性）
- （2）異なる会計基準の経営主体における経営数値（財務諸表）の比較可能性確保に関する検討（比較が可能か）
- （3）複数の施設又は支店等を有する法人の取り扱いに関する検討（各医療機関等（施設）ごとに調査票の記入が可能か）
- （4）実施方法に関する検討（手法の検討・課題の整理） 等